

09款	消防費	01項	消防費	01目	常備消防費	
事業名					職員教育訓練等事業費	単位：円
事業内容	1 市民の信頼と期待に応えうる職員の養成を目的とし消防学校等教育訓練に派遣することにより、消防業務に係る資格や知識、技術の習得を行う。			計 画 値	消防大学校	1人
	2 救急救命士の養成、救急業務高度化に係る資格取得及び医学的知識、技術の習得を行う。				消防学校	11人
事業内容	3 現場活動に必要な消防資機材を取り扱うことができる職員の養成を目的とし資格取得を行う。			計 画 値	救急救命士 養成課程研修	1人
					就業前教育	1人
成果	1 県消防学校教育訓練派遣については、初任教育、救急科、救助科等の派遣により、消防技術等のレベル向上に努めた。			実 績 値	気管挿管認定	1人
	2 救急救命士養成課程研修1人、就業前研修及び気管挿管認定1人の養成を行い、病院実習は9人が実施し、技術の向上が図られた。				病院実習	9人
成果	3 消防業務資格については、小型移動式クレーン運転資格、玉掛け講習、予防技術検定資格及びその他資格を取得し、効率的な現場活動の体制づくりが強化された。			実 績 値	消防業務資格取得	3人
					消防学校	12人
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
7,333,000	6,963,759	0	0	0	6,963,759	

09款	消防費	01項	消防費	01目	常備消防費	
事業名					装備被服整備費	単位：円
事業内容	消防活動に必要な個人装備・被服等について、法令等に基づき適切に貸与し、消防業務の安全管理の維持、規律の保持に努める。			計 画 値	採用職員制服・活動服等一式	2人
					夏用救急服	27人
成果	新採用者に、制服等一式を貸与した。平成25年度採用者への救急服、現救急隊員及び救急救命士養成課程研修者に救急服一式を貸与した。			実 績 値	冬用救急服	3人
	また、保安帽、防寒衣及びアポロキャップを貸与し、災害活動用装備品の充実と出動体制の強化が図られた。				救助服	3人
成果				実 績 値	保安帽	32人
					防寒衣	37人
予算額	決算額	財源内訳				
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
4,631,000	4,551,230	0	0	0	4,551,230	

09款	消防費	01項	消防費	01目	常備消防費	
事業名					救急救助資機材更新整備事業費	単位：円
事業内容	耐用年数を経過した救急救助資機材を計画的に更新整備を図る。 遠野消防署の消防車両に搭載している老朽化した空気呼吸器用空気ポンベを更新する。			計 画 値	空気ポンベ	10本
	救助事案の複雑化、多様化に伴い、より高度な機能・性能が必要とされている。揚煙内で活動するにあたり、救助者の生命を守るため老朽した空気ポンベを更新したことにより、救助活動時の負担軽減及び安全性の向上を図ることができた。				実 績 値	空気ポンベ
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
1,545,000	1,063,368	0	0	0	1,063,368	

09款	消防費	01項	消防費	03目	消防施設費	
事業名					防災基盤整備事業費	単位：円
事業内容	消防力を強化するため、消防団に配備している小型動力ポンプ(3台)、小型動力ポンプ積載車(1台)、小型動力ポンプ軽積載車(2台)を更新し、地域防災力の強化を図る。			計 画 値	小型動力ポンプ	3台
					実 績 値	小型動力ポンプ積載車
成果	消防団に配備している小型動力ポンプ、小型動力ポンプ積載車及び小型動力ポンプ軽積載車を更新したことにより、消防防災力の充実強化と市民生活の安全確保を図ることができた。			実 績 値		小型動力ポンプ
	【更新配備先】 1 消防団第4分団第5部花輪 (小型動力ポンプ、小型動力ポンプ積載車) 2 消防団第2分団第1部根岸 (小型動力ポンプ、小型動力ポンプ軽積載車) 3 消防団第8分団第3部川原 (小型動力ポンプ、小型動力ポンプ軽積載車)				実 績 値	小型動力ポンプ積載車
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳				
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源	
19,122,000	19,121,400	6,000,000	13,100,000	0	21,400	

09款 消防費		01項 消防費		03目 消防施設費			
事業名		消防防災施設等整備事業費				単位：円	
事業内容	消防水利が不足している地域に耐震性貯水槽（防火水槽）及び消火栓を設置する。 また、住居等の立地状況にかかる道路の変更により消火栓の移設を行い、消防水利の充実を図る。			計 画 値	耐震性貯水槽新設	2基	
					消火栓新設	2基	
成果	耐震性貯水槽及び消火栓を設置したことにより、整備地域にかかる住民の不安解消を行った。 また、地域実情にあった移設整備を行い、消防水利の充実強化を図ることができた。			実 績 値	耐震性貯水槽新設	2基	
	1 耐震性貯水槽（防火水槽）新設箇所 小友町外山地区、青笹町青笹地区 2 消火栓設置箇所 新設 … 小友町高木地区、上郷町伊原地区 移設 … 上郷町蛇野地区				消火栓新設	2基	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳					
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
20,262,000	20,245,680	5,386,000	13,700,000	0	1,159,680		

09款 消防費		01項 消防費		03目 消防施設費			
事業名		消防団活性化整備事業費				単位：円	
事業内容	新入団員及び現任団員の災害活動等に対する安全を確保するため、被服等を貸与する。 消防団員の現場活動における安全管理及び健康管理を図るため、雨衣を貸与する。雨衣の購入は3カ年計画の2年目。			計 画 値	新入団員 被服	20人分	
					現任団員 雨衣	300人分	
成果	新入団員及び現任団員の被服等の貸与を行い、安全確保を実施した。 雨衣の貸与を計画どおり実施し、雨天災害活動時の安全確保を図ることができた。			実 績 値	新入団員 被服	40人分	
					現任団員 雨衣	300人分	
予 算 額	決 算 額	財 源 内 訳					
		国 県 支 出 金	地 方 債	そ の 他	一 般 財 源		
5,911,000	5,906,485	0	0	5,000,000	906,485		

09款	消防費	01項	消防費	03目	消防施設費	
事業名					消防・防災デジタル無線システム整備事業費（繰越明許費）	単位：円
事業内容	災害時における現場状況の情報伝達及び、各機関との速やかな連携体制を図り、市民の安心安全を確保するため、消防救急移動系防災行政無線システムのデジタル化を整備する。			計 画 値	基地局 高清水基地局 寺沢基地局 簡易中継局 高檜簡易中継局 飛竜山簡易中継局 統制局 総合防災センター 消防救急 車載無線機 85台 携帯無線機 42台 受令機 44台 可搬無線機 12台 移動系防災行政無線 車載無線機 16台 F A X装置 14台 携帯無線機 12台	
	災害時における総合防災センターを拠点とした情報通信体制を構築した。山上基地局を共有することにより、非常電源・局舎・無線鉄塔等の共有化が図られ、事業費の低廉化が図られた。 1 消防救急無線 音声品質の向上、交信内容の秘匿性、通信エリアの広域化が図られた。また、電波法等の改正によるデジタル方式への変更期限（平成28年5月31日）までに完了した。 2 移動系防災行政無線 無線周波数が統一化され、広域運用が可能となった。また、地区センター等へ無線F A Xを整備し、情報収集の手段が多様化した。				基地局 高清水基地局 寺沢基地局 簡易中継局 高檜簡易中継局 飛竜山簡易中継局 統制局 総合防災センター 消防救急 車載無線機 85台 携帯無線機 42台 受令機 44台 可搬無線機 12台 移動系防災行政無線 車載無線機 16台 F A X装置 14台 携帯無線機 12台	
成果				実績値		
予算額	決算額	財源		内訳		
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
935,804,000	906,379,799	378,117,000	494,400,000	0	33,862,799	

09款 消防費		01項 消防費		04目 防災諸費		
事業名 まちまるごと防災事業費			単位：円			
事業内容	<p>1 市民の「生活の安全確保」を図るため「自分の地域は自分たちで守る」という連帯意識を持ち、地域の住民が安全で住みよいまちを構築するため自主防災組織の育成、強化を図る。</p> <p>2 防災意識の高揚と地域防災の向上を図り防災リーダーの養成に努める。</p> <p>3 市民への応急手当を普及し、広い面積を誇る遠野市民の安心安全を守ることを目的とする。 市民には、現在行われている普通救命講習より上級の応急手当普及員を養成するための講習会を開催し、また資格取得後は、現在行われている救急講習会等への指導者として派遣をする。</p>			計 画 値	<p>自主防災組織結成率 100%</p> <p>防火防災講習会参加者 300人</p> <p>消防フェア参加者 500人</p> <p>チャレンジ防災スクール参加児童 50人</p> <p>応急手当普及員養成 6人</p>	
	成果	<p>1 市内34の自主防災組織で防火防災講習会等を開催した。7月には上郷町9区で実施した地区防災訓練に各地区の自主防災組織代表者も参加し、意見交換等を通じてそれぞれの地区の防災力強化が図られた。</p> <p>2 消防フェアを9月に開催し、煙体験、初期消火、放水、地震体験等により市民の防災意識向上が図られた。 チャレンジ防災スクールに市内11校の小学校から36人が参加し、「災害から身を守る」、「日頃からの備え」等を消防体験、非常食体験を通して防災意識の高揚につながった。</p> <p>3 自主防災組織防災資機材整備事業補助金は12組織が活用し、非常用物品の購入に活用され、防災力強化が図られた。 コミュニティ助成事業を活用し、附馬牛町の7つの自治会に防災資機材（発電機、投光器、石油ストーブ、トランシーバー等）を整備した。</p> <p>4 指導者である応急手当普及員が増加したことにより、応急手当の重要性を知る市民が増加し、救急講習会の普及啓発が図られた。 自治会、仕事場等で応急手当普及員が日常会話の中から応急手当の必要性を話したことで、応急手当の習得、救急講習会の開催が円滑に進んだ。</p>			実 績 値	<p>自主防災組織結成率 95.6%</p> <p>防火防災講習会参加者 832人</p> <p>消防フェア参加者 500人</p> <p>チャレンジ防災スクール参加児童 36人</p> <p>補助金活用組織 12組織</p> <p>応急手当普及員養成 6人</p>
予算額		決算額	財源内訳			
4,275,000	3,480,527	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
		0	0	1,504,496	1,976,031	